

## 郷土文学館の催し



### 【文学忌】

次の各作家に関する特別展示を行います。

### ○第8回「福士幸次郎」

▼とき 10月9日(土)～14日(木)

※忌日の10月11日(月)は無料開館／午前10時～11時に弘前文学会による朗読会を開催。

### ○第9回「長部日出雄」

▼とき 10月16日(土)～21日(木)

※忌日の10月18日(月)は無料開館。

▼ところ 1階ロビー(第8回・第9回共通)

### 【ラウンジのひととき】

声や音で物語を演じる「ドラマリーディング」を上演します。鑑賞は無料です(ただし郷土文学館の観覧料が必要)。

▼とき 11月6日(土)

午後2時～3時

▼ところ 2階ラウンジ

▼内容 ものがたりのせかい「児童文学ドラマリーディング」

▼出演 声優劇団 津軽カタリスト

▼定員 15人(先着順) ※事前の申し込みが必要。

▼申し込み方法 10月6日(水)から、電話(☎ 37-5505) また



は郷土文学館受付で申し込みを。  
～共通事項～

▼観覧料 高校生以上＝100円／小・中学生＝50円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生や外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポートを持参の人は無料。年齢や住所を確認できるものの提示が必要。

問郷土文学館(下白銀町、☎ 37-5505)

## 太宰治ドラマリーディング 津軽カタリスト 秋の定期公演



秋にまつわる作品を特集した、臨場感溢れる朗読劇ステージです。

▼とき 10月10日(日) 午後2時～3時20分

▼ところ 太宰治まなびの家(旧藤田家住宅、御幸町)

▼上演作品 『親友交歓』、『リイズ』、『禁酒の心』など、全5作品

▼入場料 無料

※事前の申し込みは不要。

▼ライブ配信

YouTubeでのライブ配信も行います。QRコードから視聴できます。



※視聴は無料ですが通信料がかかります。

問津軽カタリスト(平田さん、☎ 090-3123-3861)

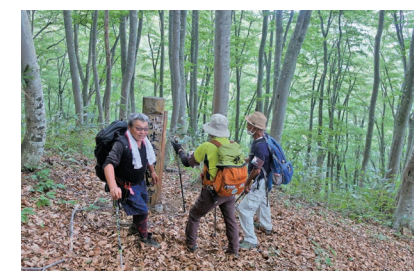
※令和3年度市民参加型まちづくり1%システム採択事業。

## 登山道整備作業と 紅葉のブナ林を楽しむ

登山道の整備作業を手伝いながら、かつて薪炭林として使われていた里山で、秋のブナ林散策を楽しみませんか。

▼とき 10月10日(日)、午前8時30分～午後2時ごろ

▼ところ 岩木山弥生新道4合目付近



▼集合時間と場所 午前8時30分に弥生こいの広場(百沢字東岩木山) 駐車場に集合

▼内容 里山散策・草刈り・足場設営見学

▼対象 市民

▼参加料 100円(保険代)

▼持ち物 雨具、昼食、おやつ、飲料水

※作業ができる服装で参加を。

▼申し込み方法 電話またはファクス(氏名・住所・電話番号を明記)で申し込みを。

問津軽百年の森づくり(小笠原さん、☎ 090-4123-9902、石岡さん、F 88-7668)

## 弘前城植物園散策ガイド

市みどりの協会の樹木医や緑の相談員が見頃の花や樹木を説明しながら、園内を楽しくガイドします。

▼とき 10月10日(日) 午前10時～11時

▼集合場所 弘前城植物園(下白銀町)南案内所

▼参加料 無料(ただし入園料が必要)

※事前の申し込みは不要。

問市みどりの協会(☎ 33-8733)

## ボランティア活動

### 「みどりフレンズ」大募集!

藤田記念庭園でハナショウブ

の施肥作業を体験しませんか。

▼とき 10月13日(水)、午前9時30分～11時30分(途中休憩あり)

※事前の申し込みが必要。

▼持ち物 飲み物、手袋、タオル等

※動きやすく、汚れてもいい服装で参加を。

問藤田記念庭園(☎ 37-5525)



## 緑の相談所

10月の催し

### 【展示会】

#### ●弘前盆栽研究会 諸盆栽作品展

7日(木)～10日(日)、午前9時～午後3時



#### ●青森県おもと名品展

11日(月)～14日(木)、午前9時～午後4時 ※最終日は午後3時まで。

#### ●盆友会秋季展

22日(金)～27日(水)、午前9時～午後4時

#### ●津軽さつき会盆栽展

29日(金)～11月3日(水・祝)、午前9時～午後4時

### 【訪問相談】

9日(土)・23日(土) ※庭木の無料出張診断です。電話で申し込みを。

### 【弘前城植物園…今月見られる花】

シュウメイギク、ホトトギス、キク、フジバカマなど



問緑の相談所(弘前公園内、☎ 33-8737、午前9時～午後5時)

## 市立博物館企画展3

# きもの

～装いの美・美は喜び～

本展では、江戸時代の小袖や振袖・打掛など、武家の女性の装束を中心に展示します。

小袖は現代のきものの原形とされ、生地や技法・デザインなどの多様さは日本の美的文化の一つとして世界的に注目されています。この機会にきものの歴史に触れ、装いの美を堪能しませんか。

問市立博物館(下白銀町、☎ 35-0700)

## 【本展のみどころ】

前期展では、女子美術大学美術館の協力を得て実現した、徳川将軍家をはじめ、鳥取藩池田家、九鬼家などの大名家に伝来した貴重な染織品、後期展では、江戸東京博物館所蔵の宮中装束をはじめ、徳川将軍家や岡山藩池田家伝来の染織品を多数展示します。その他、津軽家や郷土ゆかりの品も見どころです。



▲【前期】御所車秋草模様小袖(江戸後期、九鬼家伝来、女子美術大学美術館蔵)



▲【後期】鴉地波立涌に尾長鳥に菊二重織物小袷(明治前期、東京都江戸東京博物館蔵)

▼とき 前期…10月2日(土)～11月14日(日)／後期…11月20日(土)～12月19日(日) ※10月18日(月)、11月15日(月)、展示替え期間(11月16日～19日)は休館。

▼開館時間 午前9時30分～午後4時30分

▼観覧料 一般＝300円、高校生・大学生＝150円、小・中学生＝100円

### ●高岡の森弘前藩歴史館共通券

一般＝420円、高校生・大学生＝210円、小・中学生＝140円

※障がい者、65歳以上の市民、市内の小・中学生・外国人留学生、ひろさき多子家族応援パスポート持参の人は無料。

▼常設展 「ひろさきの歴史と文化～原始から近現代へ～」

関連イベント(Instagramで開催)

## デジタル KIMONO ミュージアム

～和装で来館しませんか～

会期中、スタッフが撮影する和装姿の写真を市立博物館公式Instagramに掲載することに同意すると、観覧料が無料になります。

